

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【市民や地域の期待に応え、生徒が楽しく、意欲的に学べる環境や取組みの充実】</p> <p>(1) 防災意識の向上と地域との連携を目的とした取り組み (施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援) 校長 教科指導</p> <p>(2) 英語力やコミュニケーション力を伸ばす取り組み (施策6 国際社会において生き抜く力の育成) 校長 教科指導</p> <p>(3) 本校の教育活動の効果的な広報 校長 教務</p> <p>(4) 新たな教育課程の編成をめざし、商業高校として、これからの時代に必要な能力や知識を検討する。 教務</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【魅力ある学校づくりの取り組み】</p> <p>(施策8 施策を実現するための仕組みの推進) 校長 教科指導</p> <p>校長によるマネジメントを強化することにより、生徒への学力向上、進路保障、校内各種委員会の精選、地域や中学校への情報発信などを中心とした、魅力ある学校づくりをおこなう。特に令和4年度新教育課程の準備として、観光ビジネス教育の研究・キャリア教育の充実を図る。</p>	B
<p>指標</p> <p>検定取得のための取組の強化。キャリア教育の強化。地域や中学校への広報活動強化 観光ビジネス教育研修会の開催、「産業社会と人間」指導案づくり</p>	
<p>取組内容②【地域との連携を目的とした取り組み】</p> <p>(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援) 校長 教科指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災意識の向上と地域住民とのコミュニケーションを目的とした取り組みを実施し、生徒の積極的な参加を促す。 ・地域企業と連携した名物商品の開発と販売実習を実施する。 ・課題研究の授業をとおして地域の観光・文化等を紹介する取組を実施する。 	B
<p>指標</p> <p>防災を目的とした行事に参加し、敷津浦地域と連携した防災訓練を計画する。 地域と連携した商品、パッケージの開発や販売実習をおこなう。 フィールドワークをおこない、地域の観光・文化を中心とした発表をおこなう。</p>	
<p>取組内容③【本校の教育活動の効果的な広報】 校長 教務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校HPを充実し、日頃の教育実践を教職員と生徒が積極的かつ効果的にPRする。 ・学校案内パンフレットを新たにし、魅力ある学校のアピールに努め、中学校への広報活動を充実させる。 ・中学生対象の各種説明会や夏の体験講座の内容を刷新し、魅力ある学校づくりをアピールし、広報活動の充実を図る。 	A
<p>指標</p> <p>学校説明会や夏の体験講座の出席人数を前年度より上回れるようにする。</p>	

<p>取組内容④【新たな教育課程の編成をめざした検討】 教務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「観光」を特色とした新教育課程の編成作業を行っているところであるが、今年度夏期での申請を見据え、より効果的で効率的な教育課程を1学期中に完成させるべく取り組んでいく。 ・来年度より実施される新学習指導要領による観点別評価方法の導入に伴い、本校の学習評価規定の全面改訂に着手する。評価方法、進級・卒業の制度等も含め全面的に検討し、今年度中に策定し、来年度より年次進行での運用を行う。 	B
<p>指標 新教育課程・新評価規定とも来年度より実施されるので、今年度中のできるだけ早い段階で決定できるように編成作業を進めていく。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容①</p> <p>新教育課程での観光コース設置のための研修会を開催し、また先進校に学校訪問をおこない調査内容を校内で伝達講習も実施した。</p> <p>校内委員会を設置し、「ライフプランニング」の準備を進めた。(5回実施)</p>	
<p>取組内容②</p> <p>今年度も地域和菓子店と連携し1回の販売実習を実施した。</p> <p>課題研究をとおして、地域の観光・文化を紹介する取組をおこなっており、生徒発表の場としてパワーポイント等を活用したプレゼンテーションの会を実施した。</p>	
<p>取組内容③</p> <p>全教員の協力のもと、中学校訪問数は250件を超えることができた。また、学校案内パンフレットの刷新、学校ポスターの主要駅掲示、HPの更新頻度増加等、広報活動を充実することができた。</p> <p>また、中学生対象の体験会も夏(中止)、秋(106名)、冬(76名)、説明会を実施し、例年になく盛り上がった体験会となった。生徒アンケートもおおむね好評であった。個別相談会も4件の申し込みがあり、個別の対応をしっかりとることができた。</p>	
<p>取組内容④</p> <p>令和4年度から、「スペシャリスト」「観光」「ジェネラリスト」の3コースを設定し、生徒の興味、関心、目的に応じた学習をできるように新教育課程の完成を見た。また、コース選択に直結し、キャリア教育を推進するべく学校設定教科・科目として「ライフプランニング」も創設できた。</p> <p>新評価規定については観点別評価を中心とする新たな規定を策定しているところであるが、最終の検討を行っている段階であり、新年度からは新しい内規の下、教育活動を学年進行で行っていく。</p>	

次年度への改善点

取組内容①

計画通り進んでおり実施できた。次年度もより一層、教職員間での協力体制を築いていきたい。

取組内容②

コロナウイルスの影響もあり、今年度の販売実習は1回しかできなかった。来年度の府移管を契機に、地域・企業等との例年になく取組を計画し実施したい。

取組内容③

今年度の取り組みを軸に、さらなる広報活動の充実、学校の魅力を中学校等にアピールできるようにつとめる。

取組内容④

新教育課程に即し、例えば各コースの選択方法や各コースを鑑みたクラス編成、学校設定教科「観光」を担当する教員の決定など新たなシステムを構築していく。

新たな評価規定についてはより効果的かつ効率的な規定にするべく、問題点を洗い出し、規定の精査を行い、是正すべき点、改定すべき点を都度、検討していきたい。